

# [計画名称] 塚間川流域浸水被害対策プラン

# 【長野県岡谷市】

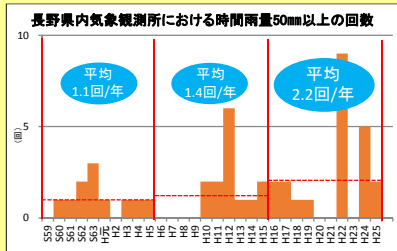
## 流域の概要

近年多発する集中豪雨により、岡谷市街地内において、家屋等の浸水被害が増加  
塚間川流域の都市部では、近年浸水被害が発生し、特に、平成25年8月15日豪雨(最大時間雨量72mm)では、床上11戸、床下33戸の浸水被害が発生



平成25年8月15日豪雨時の溢水状況

○長野県における時間雨量  
・50mm以上の発生回数  
S59~H5: 1.1回/年 → H16~H25: 2.2回/年  
**2倍に増加**

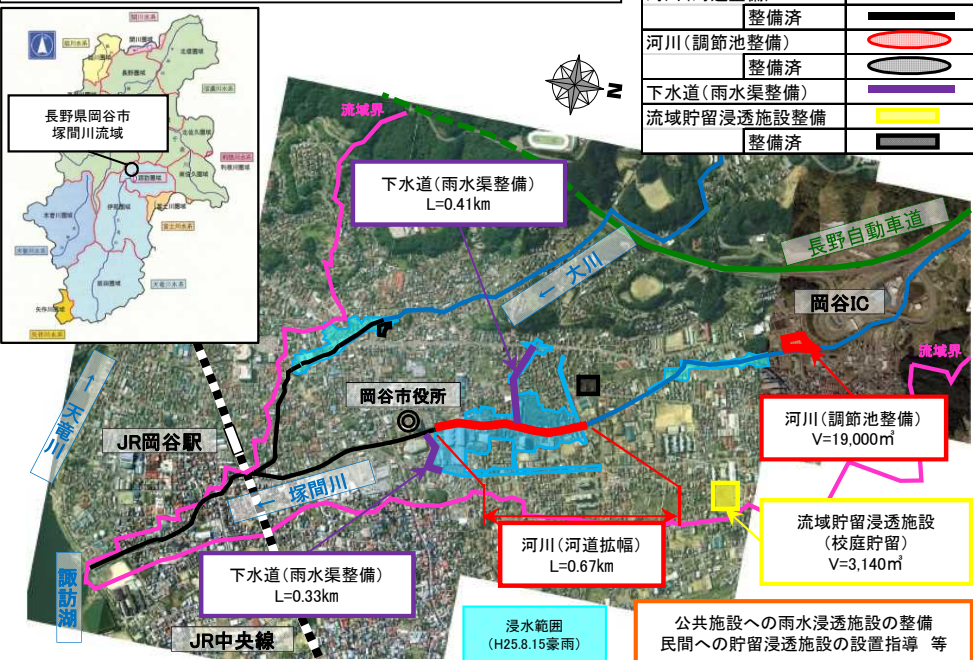


○市街地の拡大により、流出量が増大し、  
**浸水危険度が増大**

- ・流域内の建物比率  
S51年: 31.6% → H18年: 35.6% **約1.13倍に増加**
- ・河川整備(河川整備計画目標1/30)
- ・下水道整備(雨水: 全体計画1/5)

○100mm/h安心プランで対象とする降雨 平成25年8月15日 最大時間雨量72mm

## 塚間川流域浸水被害対策プラン 対策箇所図



## 【浸水被害の主な要因】

- 頻発する集中豪雨により、流下能力を超える洪水の発生、浸水の発生の危険度が増大
- 市街化の進展等により、流域からの流出量が増大し、一気に河川に流入  
一方、都市化の進展等により、河川改修に多大な費用と時間が必要
- 排水能力を超える雨水の流出により、内水被害が頻発

⇒ 流域における浸水対策を関係機関が一体となり効果的に組み合わせて推進する必要がある。

塚間川流域の総合的な治水対策について、長野県・岡谷市・地域の住民(団体)からなる「塚間川流域総合治水対策会議」で検討し、関係機関が対策を実施

## 「塚間川流域総合治水対策会議」

組織	部 局
長野県	河川課、生活排水課、諏訪建設事務所
岡谷市	建設水道部(土木課、水道課)、総務部(危機管理室)
住民(団体)	今井区、間下区、新屋敷区、岡谷市消防団



## 取組の概要

- 集中的な対策の実施
  - ・ 河川事業と下水道事業の連携により、近年浸水被害が発生し、危険性が高い地域を集中的に整備
  - ・ 河川整備(調節池、河道拡幅)、下水道整備(雨水渠)、流域における貯留浸透施設の整備等により、流域全体で対策
  - ・ 河川管理者である長野県、下水道事業者である地元岡谷市、地域の住民(団体)等が連携して対策、進捗管理、ソフト対策を実施
- 対策効果の早期発現に向けた進捗管理
  - ・ 関係機関・地域で組織する「塚間川流域総合治水対策会議」において各実施主体が報告を行いプランの進捗管理・評価を実施

## 取組の効果

期間内に関係機関が対策を実施することにより、対象とする降雨と同規模の降雨に対して、家屋の浸水被害が解消される。